

3. 銚子市の現状整理

(1) 概要・歴史

- ・ 銚子市は、関東平野の最東端に位置し銚子半島一帯の海岸線は、水郷筑波国定公園に指定されており、犬吠埼を中心に景観に優れた地域となっている。
- ・ 江戸時代より利根川水運の隆盛を背景に、漁業と醤油醸造により発展をした地域である。
- ・ 千葉県では千葉市に次いで2番目に市制施行している。
- ・ 温暖な気候と新鮮で豊富な魚介類により観光地としての歴史も古く、多くの文化人や観光客に愛され親しまれてきた。(多くの句碑・歌碑・詩碑がある)
- ・ 日本有数の水揚げを誇る銚子漁港ともに、農業生産出荷も多く、第一次産業が活発な地域である。
- ・ 東京から2時間程度と、交通アクセスはあまりよくない。また、市内の二次交通網の充実も課題である。

(2) 人口

- ・ 人口減少と少子高齢化が加速度的に進んでおり、生産人口も減少している。
- ・ 2000年～2030年までの人口減少率は、千葉県内1位となることが推測されている。
- ・ 生活基盤を近隣の市町村に移す30歳代前半の流出が多くなっている。
- ・ 04年4月に大学が開校しているが、10歳代後半～20歳代前半の人口増加に結びついていない。

(3) 産業

- ・ 事業所数、従業者ともに減少しており、雇用機会は減少している。特に、卸売・小売業と製造業の減少が目立っている。
- ・ 事業所数は卸売・小売業、サービス業、飲食・宿泊業の順で多く、従業者数は卸売・小売業、製造業、サービス業の順に多い。

(4) 農業

- ・ 銚子市では1,000を超える販売農家が存在しており、主力産業のひとつとなっている。
- ・ 千葉県内有数の農産地であり、農業産出額は近年でも増加傾向にある。
- ・ 野菜生産が多く、キャベツ(春キャベツは生産量日本一)、ダイコン、メロンのほか、トウモロコシが主力農産品である。

(5) 漁業・水産業

- ・ 銚子漁港は、全国に 13 港ある特定第3種漁港のひとつで全国有数の漁港であり、水揚高は毎年トップクラスとなっている。
- ・ 銚子漁港の漁獲量で主力なのは、かたくちいわし・まいわし、さば、さんまなどの青魚となっている。
- ・ 銚子のキンメダイは「銚子つりきんめ」としてブランド化されている。
- ・ 豊富な水揚高から、水産加工業が盛んである。

(6) 製造業・商業

- ・ 製造業は事業所数・従業者数ともに年々減少傾向にある。
- ・ 製造業の産業別従業員数、出荷額等ともに食料品製造業が圧倒的に多い。特に、醤油製造業が多く、次いで水産加工品製造業となっている。
- ・ 中心市街地の商店街は主要集客店舗の閉店など、空き店舗や空き地が見られる厳しい状況にある。
- ・ イオン銚子ショッピングセンターが 10 年3月にオープンした。

(7) 観光

- ・ 銚子市の年間観光客数は年間 277 万人となっている。
- ・ 日帰り観光客が多く、年間の宿泊客数は 25 万人程度にとどまっている。
- ・ 地球の丸く見える丘展望館などの観光施設には年間 25 万人程度立ち寄っているが、5 年前と比べて 10%以上減少している。

(8) 新しい取組み

- ・ 銚子漁港市場てうし横丁、わくわく門前プロジェクト、銚子ジオパーク構想、銚子セレクト市場、銚子漁港第一魚市場大規模改修など、銚子市では観光活性化に向けて、様々な取組みが進行している。

(9) 銚子のイメージ

- ・ 海に関するイメージが高く、海以外のイメージが低いようである。
- ・ 海のレジャーに関するイメージは高いが、実際にはあまり楽しめない。
- ・ 犬吠埼灯台、銚子漁港、銚子電鉄など、メディアに取り上げられる機会の多い場所（施設）以外は、あまり知られていない。
- ・ PRを見ていない回答が約 70%と情報発信が不十分である。
- ・ 食事（魚介類）や景観などは、銚子市民が持っているイメージと一致している。
- ・ イメージ調査では、おいしい魚介類が味わえるとした回答が多かったが、他の漁港・市場などと比較した調査では、おいしい魚が食べられる町としてのイメージは、あまり高くない結果となっている。